

ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド
 (部分為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)
 -USトライアングル-
 ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・
 マネーポートフォリオ-USトライアングル-

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	部分為替ヘッジあり/ 為替ヘッジなし	追加型投信/海外/債券
	マネーポートフォリオ	追加型投信/国内/債券
信託期間	2015年12月24日～2030年11月18日	
運用方針	部分為替ヘッジあり/ 為替ヘッジなし	安定した収益の確保と信託財産の着 実な成長をめざして運用を行ないま す。
	マネーポート フォリオ	安定した収益の確保をめざして運用 を行ないます。
主要投資 対象	部分為替ヘッジあり/ 為替ヘッジなし	USトレジャリー 7-10 マザー ファンドの受益証券
	マネーポート フォリオ	イ. ダイワ・マネーポートフォリ オ・マザーファンドの受益証券 ロ. 円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザー ファンド組入上限比率	無制限
	外貨建資産組入上限比率	
	USトレジャリー 7-10 マザーファンド	無制限
	株式組入上限比率	
分配方針	部分為替ヘッジあり/ 為替ヘッジなし	分配対象額は、経費控除後の配当等 収益と売買益（評価益を含みま す。）等とし、原則として、継続的 な分配を行なうことを目標に分配金 額を決定します。ただし、分配対象 額が少額の場合には、分配を行なわ ないことがあります。また、第1計 算期末には、収益の分配は行ないま せん。
	マネーポート フォリオ	分配対象額は、経費控除後の配当等 収益と売買益（評価益を含みま す。）等とし、原則として、配当等 収益等を中心に分配します。ただ し、配当等収益等の額が少額の場合 には、分配を行なわないことがあ ります。また、第1計算期末には、収 益の分配は行ないません。

運用報告書（全体版）

第39期（決算日 2025年8月18日）

第40期（決算日 2025年11月18日）

（作成対象期間 2025年5月20日～2025年11月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、（部分為替ヘッジあり/為
替ヘッジなし）残存期間の異なる米国国債に
投資し、安定した収益の確保と信託財産の着
実な成長をめざし、（マネーポートフォリ
オ）円建ての債券に投資し、安定した収益の
確保をめざすことを目的としております。当
作成期につきましてもそれに沿った運用を行
ないました。ここに、運用状況をご報告申し
上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5671>

<5672>

<5673>

部分為替ヘッジあり

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
31期末 (2023年 8 月18日)	円 8,224	円 40	% △4.0	% 99.4	% -	百万円 5,854
32期末 (2023年11月20日)	8,155	40	△0.4	96.4	-	5,829
33期末 (2024年 2 月19日)	8,180	40	0.8	96.3	-	5,871
34期末 (2024年 5 月20日)	8,163	40	0.3	96.5	-	5,597
35期末 (2024年 8 月19日)	8,309	40	2.3	98.1	-	5,722
36期末 (2024年11月18日)	8,049	40	△2.6	99.8	-	5,567
37期末 (2025年 2 月18日)	7,966	40	△0.5	93.6	-	5,142
38期末 (2025年 5 月19日)	7,883	40	△0.5	97.6	-	5,113
39期末 (2025年 8 月18日)	8,008	40	2.1	95.9	-	5,220
40期末 (2025年11月18日)	8,218	40	3.1	100.2	-	5,383

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

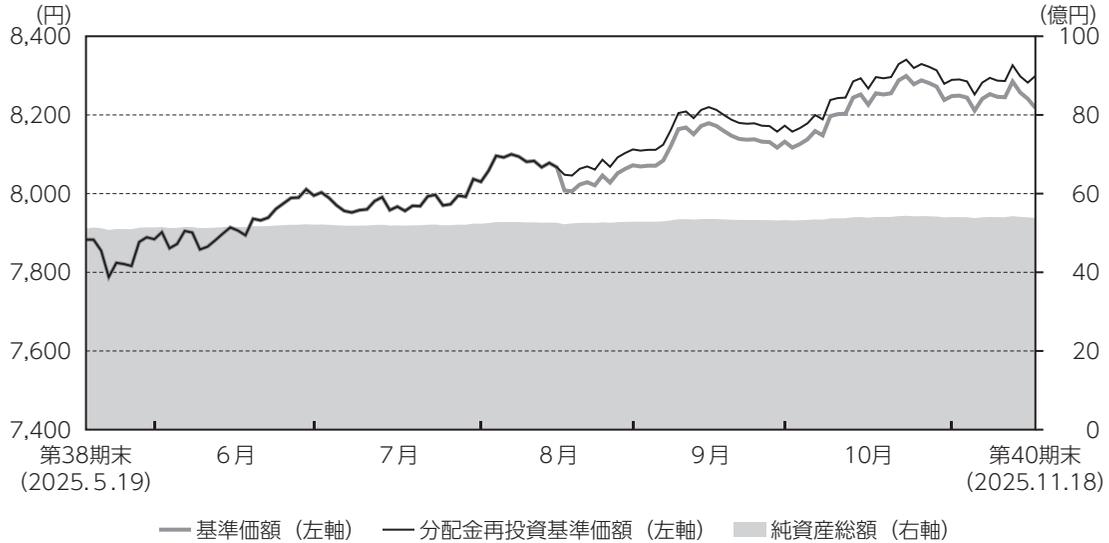
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第39期首：7,883円

第40期末：8,218円（既払分配金80円）

騰落率：5.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

米国国債に投資し、部分為替ヘッジを行った結果、為替ヘッジコストはマイナス要因となった一方で、円安米ドル高や投資している債券の価格上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド（部分為替ヘッジあり） - USトライアングル-

	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 比 債 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第39期	(期首) 2025年 5 月19日	円 7,883	% -	% 97.6	% -	
	5 月末	7,884	0.0	95.8	-	
	6 月末	7,995	1.4	96.7	-	
	7 月末	8,030	1.9	99.7	-	
	(期末) 2025年 8 月18日	8,048	2.1	95.9	-	
第40期	(期首) 2025年 8 月18日	8,008	-	95.9	-	
	8 月末	8,072	0.8	96.0	-	
	9 月末	8,132	1.5	96.2	-	
	10月末	8,248	3.0	99.7	-	
	(期末) 2025年11月18日	8,258	3.1	100.2	-	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.5.20~2025.11.18)

■米国債券市況

米国金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市場では、当作成期首から2025年10月にかけて、金利は、一時的な上昇（債券価格は下落）を挟みつつも、労働市場の悪化懸念などを背景にF R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを実施したことなどから、低下基調で推移しました。その後、当作成期末にかけては、F R Bの一部高官が次回利下げについて慎重な姿勢を示したことなどを受け、金利は上昇に転じました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2025年7月にかけて、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まり円安が進行しました。その後は、国内金利の上昇や米国の軟調な雇用統計を受けた利下げ期待の高まりなどから、円高となる局面もありましたがおおむねレンジで推移しました。10月から当作成期末にかけては、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待から再び円安が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「USトレジャリー7-10マザーファンド」を高位に組み入れます。

また、保有実質外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、当ファンドの実質的な円貨比率を70%に近づけることをめざします。

■USトレジャリー7-10マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

米国国債の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

ポートフォリオについて

(2025.5.20~2025.11.18)

■当ファンド

「USトレジャリー 7-10 マザーファンド」を高位に組み入れました。

保有実質外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、当ファンドの実質的な円貨比率を70%に近づけました。

■USトレジャリー 7-10 マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

米国国債の組入比率は、高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第39期	第40期
	2025年5月20日 ~2025年8月18日	2025年8月19日 ~2025年11月18日
当期分配金（税込み）（円）	40	40
対基準価額比率（%）	0.50	0.48
当期の収益（円）	40	40
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	883	919

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 72.98円	✓ 76.28円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	284.98	287.89
(d) 分配準備積立金	565.65	595.73
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	923.62	959.91
(f) 分配金	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	883.62	919.91

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「USトレジャリー 7-10 マザーファンド」を高位に組み入れます。

保有実質外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、当ファンドの実質的な円貨比率を70%に近づけることをめざします。

■USトレジャリー 7-10 マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

米国国債の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第39期～第40期 (2025.5.20～2025.11.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	19円	0.237%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,065円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.110)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.110)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	-	-	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	-	-	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.006	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	20	0.242	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

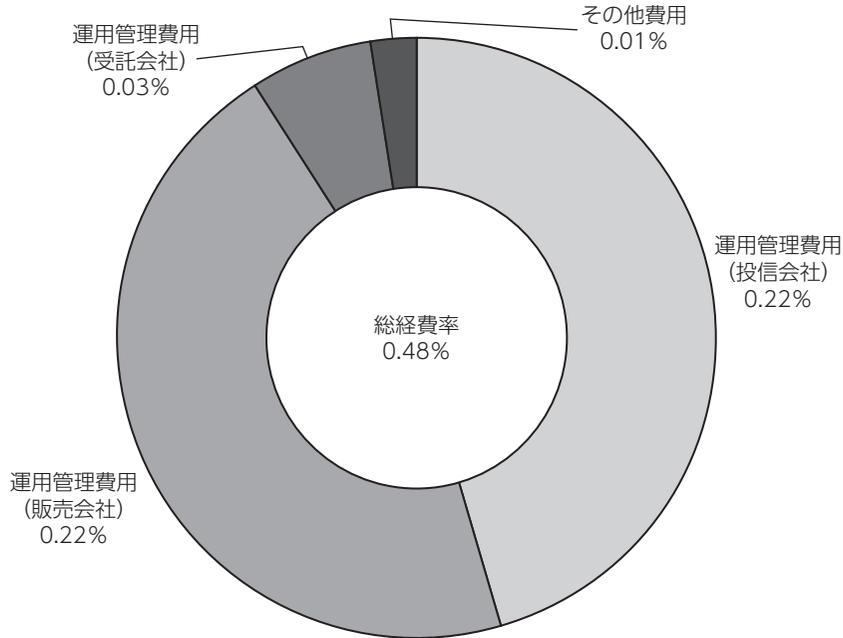
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.48%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年5月20日から2025年11月18日まで)

決算期	第39期～第40期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
USTレジャリー7-10 マザーファンド	18,640	25,800	99,741	142,700

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第38期末	第40期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
USTレジャリー7-10マザーファンド	3,675,376	3,594,275	5,522,244

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月18日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
	千円	%
USTレジャリー7-10マザーファンド	5,522,244	98.0
コール・ローン等、その他	114,124	2.0
投資信託財産総額	5,636,369	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝155.34円です。

(注3) USTレジャリー7-10マザーファンドにおいて、第40期末における外貨建純資産(29,367,883千円)の投資信託財産総額(34,015,616千円)に対する比率は、86.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年8月18日)、(2025年11月18日)現在

項目	第39期末	第40期末
(A) 資産	8,824,788,295円	9,291,569,423円
コール・ローン等	160,194,410	114,124,621
USTレジャリー7-10マザーファンド(評価額)	5,123,998,830	5,522,244,530
未収入金	3,540,595,055	3,655,200,272
(B) 負債	3,604,774,530	3,908,349,188
未払金	3,572,474,005	3,875,543,096
未払収益分配金	26,074,350	26,201,222
未払信託報酬	6,119,484	6,380,992
その他未払費用	106,691	223,878
(C) 純資産総額(A-B)	5,220,013,765	5,383,220,235
元本	6,518,587,673	6,550,305,586
次期繰越損益金	△1,298,573,908	△1,167,085,351
(D) 受益権総口数	6,518,587,673口	6,550,305,586口
1万口当り基準価額(C/D)	8,008円	8,218円

*当作成期首における元本額は6,486,529,482円、当作成期間(第39期～第40期)中における追加設定元本額は63,776,104円、同解約元本額は0円です。

*第40期末の計算口数当りの純資産額は8,218円です。

*第40期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,167,085,351円です。

■損益の状況

第39期 自2025年5月20日 至2025年8月18日
第40期 自2025年8月19日 至2025年11月18日

項目	第39期	第40期
(A) 配当等収益	75,672円	137,122円
受取利息	75,672	137,122
(B) 有価証券売買損益	113,593,800	170,374,351
売買益	261,283,466	399,289,520
売買損	△147,689,666	△228,915,169
(C) 信託報酬等	△6,235,708	△6,503,485
(D) 当期損益金(A+B+C)	107,433,764	164,007,988
(E) 前期繰越損益金	△1,112,353,396	△1,030,993,982
(F) 追加信託差損益金	△267,579,926	△273,898,135
(配当等相当額)	(185,768,732)	(188,576,766)
(売買損益相当額)	(△453,348,658)	(△462,474,901)
(G) 合計(D+E+F)	△1,272,499,558	△1,140,884,129
(H) 収益分配金	△26,074,350	△26,201,222
次期繰越損益金(G+H)	△1,298,573,908	△1,167,085,351
追加信託差損益金	△267,579,926	△273,898,135
(配当等相当額)	(185,768,732)	(188,576,766)
(売買損益相当額)	(△453,348,658)	(△462,474,901)
分配準備積立金	390,227,788	413,994,590
繰越損益金	△1,421,221,770	△1,307,181,806

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 39 期	第 40 期
(a) 経費控除後の配当等収益	47,577,840円	49,968,024円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	185,768,732	188,576,766
(d) 分配準備積立金	368,724,298	390,227,788
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	602,070,870	628,772,578
(f) 分配金	26,074,350	26,201,222
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	575,996,520	602,571,356
(h) 受益権総口数	6,518,587,673口	6,550,305,586口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 39 期	第 40 期
1 万口当り分配金（税込み）	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込 分 配	み 金 騰 落 中 率			
31期末 (2023年 8月18日)	円 10,380	円 40	% 0.9	% 98.1	% -	百万円 49
32期末 (2023年11月20日)	10,619	40	2.7	98.1	-	50
33期末 (2024年 2月19日)	10,799	40	2.1	97.8	-	51
34期末 (2024年 5月20日)	11,191	40	4.0	98.1	-	53
35期末 (2024年 8月19日)	11,156	40	0.0	97.4	-	1
36期末 (2024年11月18日)	11,246	40	1.2	97.9	-	1
37期末 (2025年 2月18日)	11,103	40	△0.9	96.5	-	1
38期末 (2025年 5月19日)	10,745	40	△2.9	98.7	-	1
39期末 (2025年 8月18日)	11,139	40	4.0	97.2	-	1
40期末 (2025年11月18日)	11,946	40	7.6	97.1	-	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

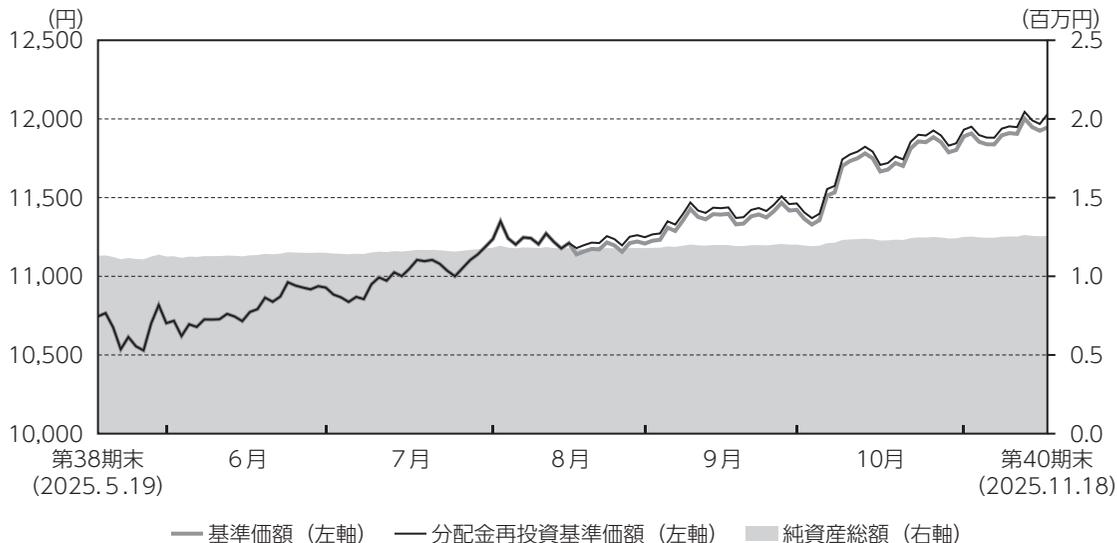
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第39期首：10,745円

第40期末：11,946円（既払分配金80円）

騰落率：12.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、円安米ドル高や投資している債券の価格上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド（為替ヘッジなし）-USトライアングル-

	年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
			騰 落 率	組 入 比		
第39期	(期首) 2025年 5 月19日	円	%	%	%	%
	5 月末	10,745	-	98.7	-	-
	6 月末	10,702	△0.4	97.8	-	-
	7 月末	10,928	1.7	97.6	-	-
	(期末) 2025年 8 月18日	11,237	4.6	98.2	-	-
第40期	(期首) 2025年 8 月18日	11,179	4.0	97.2	-	-
	8 月末	11,139	-	97.2	-	-
	9 月末	11,208	0.6	98.0	-	-
	10 月末	11,422	2.5	97.1	-	-
	(期末) 2025年11月18日	11,889	6.7	98.0	-	-
		11,986	7.6	97.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.5.20~2025.11.18)

■米国債券市況

米国金利は低下（債券価格は上昇）しました。

米国債券市場では、当作成期首から2025年10月にかけて、金利は、一時的な上昇（債券価格は下落）を挟みつつも、労働市場の悪化懸念などを背景にF R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを実施したことなどから、低下基調で推移しました。その後、当作成期末にかけては、F R Bの一部高官が次回利下げについて慎重な姿勢を示したことなどを受け、金利は上昇に転じました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2025年7月にかけて、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まり円安が進行しました。その後は、国内金利の上昇や米国の軟調な雇用統計を受けた利下げ期待の高まりなどから、円高となる局面もありましたがおおむねレンジで推移しました。10月から当作成期末にかけては、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待から再び円安が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「USトレジャリー7-10 マザーファンド」を高位に組み入れます。

■USトレジャリー7-10 マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

米国国債の組入比率は、通常の状態を高位に維持することを基本とします。

ポートフォリオについて

(2025.5.20~2025.11.18)

■当ファンド

「USトレジャリー 7-10 マザーファンド」を高位に組み入れました。

■USトレジャリー 7-10 マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

米国国債の組入比率は、高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第39期	第40期
	2025年5月20日 ~2025年8月18日	2025年8月19日 ~2025年11月18日
当期分配金（税込み）（円）	40	40
対基準価額比率（%）	0.36	0.33
当期の収益（円）	40	40
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	1,826	2,294

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第39期	第40期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 103.61円	✓ 110.05円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	398.37
(c) 収益調整金	1,057.90	1,057.90
(d) 分配準備積立金	705.03	768.65
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,866.56	2,334.99
(f) 分配金	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,826.56	2,294.99

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「USトレジャリー 7-10 マザーファンド」を高位に組み入れます。

■USトレジャリー 7-10 マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

米国国債の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第39期～第40期 (2025.5.20～2025.11.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.237%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,242円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.110)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.110)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	-	-	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	-	-	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.016)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	29	0.254	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

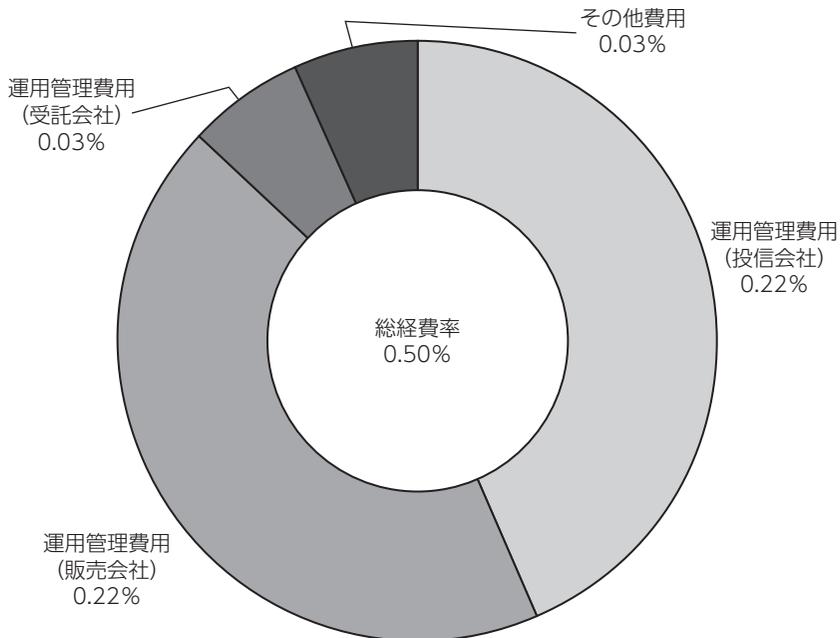
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年5月20日から2025年11月18日まで)

決算期	第39期～第40期			
	設定		解約	
	□ 数	金額	□ 数	金額
	千□	千円	千□	千円
USTレジャリー7-10 マザーファンド	-	-	8	12

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第38期末	第40期末	
	□ 数	□ 数	評価額
	千□	千□	千円
USTレジャリー7-10マザーファンド	821	813	1,250

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月18日現在

項目	第40期末	
	評価額	比率
	千円	%
USTレジャリー7-10マザーファンド	1,250	99.0
コール・ローン等、その他	12	1.0
投資信託財産総額	1,262	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝155.34円です。

(注3) USTレジャリー7-10マザーファンドにおいて、第40期末における外貨建純資産(29,367,883千円)の投資信託財産総額(34,015,616千円)に対する比率は、86.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年8月18日)、(2025年11月18日)現在

項目	第39期末	第40期末
(A) 資産	1,177,272円	1,262,313円
コール・ローン等	5,693	6,176
USTレジャリー7-10 マザーファンド(評価額)	1,165,579	1,250,137
未収入金	6,000	6,000
(B) 負債	5,608	5,803
未払収益分配金	4,207	4,207
未払信託報酬	1,310	1,413
その他未払費用	91	183
(C) 純資産総額(A-B)	1,171,664	1,256,510
元本	1,051,857	1,051,857
次期繰越損益金	119,807	204,653
(D) 受益権総口数	1,051,857口	1,051,857口
1万口当り基準価額(C/D)	11,139円	11,946円

*当作成期首における元本額は1,051,857円、当作成期間(第39期～第40期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

*第40期末の計算口数当りの純資産額は11,946円です。

■損益の状況

第39期 自2025年5月20日 至2025年8月18日
第40期 自2025年8月19日 至2025年11月18日

項目	第39期	第40期
(A) 有価証券売買損益	47,006円	90,558円
売買益	47,006	90,558
(B) 信託報酬等	△ 1,401	△ 1,505
(C) 当期損益金(A+B)	45,605	89,053
(D) 前期繰越損益金	3,880	45,278
(E) 追加信託差損益金	74,529	74,529
(配当等相当額)	(111,277)	(111,277)
(売買損益相当額)	(△ 36,748)	(△ 36,748)
(F) 合計(C+D+E)	124,014	208,860
(G) 収益分配金	△ 4,207	△ 4,207
次期繰越損益金(F+G)	119,807	204,653
追加信託差損益金	74,529	74,529
(配当等相当額)	(111,277)	(111,277)
(売買損益相当額)	(△ 36,748)	(△ 36,748)
分配準備積立金	80,852	130,124
繰越損益金	△ 35,574	-

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 39 期	第 40 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,899円	11,576円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	41,903
(c) 収益調整金	111,277	111,277
(d) 分配準備積立金	74,160	80,852
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	196,336	245,608
(f) 分配金	4,207	4,207
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	192,129	241,401
(h) 受益権総口数	1,051,857口	1,051,857口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 39 期	第 40 期
1 万口当り分配金 (税込み)	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

USトレジャリー 7-10 マザーファンド

運用報告書 第22期 (決算日 2025年11月18日)

(作成対象期間 2025年5月20日～2025年11月18日)

USトレジャリー 7-10 マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

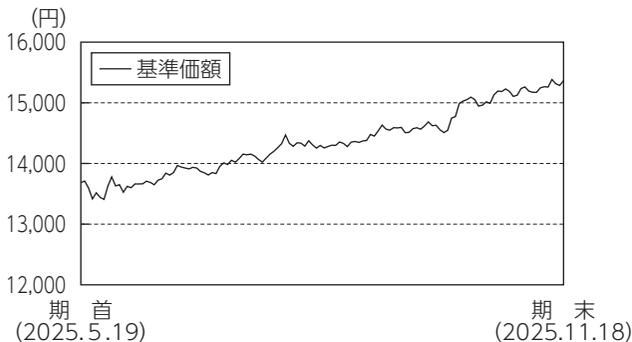
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国国債
外貨建資産組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額 円	騰落率		公社債組入比率		債券先物率	
		%	%	%	%		
(期首) 2025年 5月19日	13,684	-	-	99.2	-	-	-
5月末	13,630	△ 0.4	-	98.3	-	-	-
6月末	13,925	1.8	-	98.0	-	-	-
7月末	14,327	4.7	-	98.6	-	-	-
8月末	14,347	4.8	-	98.5	-	-	-
9月末	14,629	6.9	-	97.5	-	-	-
10月末	15,235	11.3	-	98.3	-	-	-
(期末) 2025年11月18日	15,364	12.3	-	97.6	-	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,684円 期末：15,364円 騰落率：12.3%

【基準価額の主な変動要因】

米国国債に投資した結果、円安米ドル高や投資している債券の価格上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国金利は低下(債券価格は上昇)しました。

米国債券市場では、当作成期首から2025年10月にかけて、金利は、一時的な上昇(債券価格は下落)を挟みつつも、労働市場の悪化懸念などを背景にFRB(米国連邦準備制度理事会)が利下げを実施したことなどから、低下基調で推移しました。その後、当作成期末にかけては、FRBの一部高官が次回利下げについて慎重な姿勢を示したことなどをを受け、金利は上昇に転じました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇(円安)しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2025年7月にかけて、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まり円安が進行しました。その後は、国内金利の上昇や米国の軟調な雇用統計を受けた利下げ期待の高まりなどから、円高となる局面もありましたがおおむねし

ンジで推移しました。10月から当作成期末にかけては、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩やかな金融環境の継続への期待から再び円安が進行しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

米国国債の組入比率は、通常の状態での高位に維持することを基本とします。

◆ポートフォリオについて

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

米国国債の組入比率は、高位に維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

米国国債に投資し、残存期間の異なる国債の利息収入を確保するとともに、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が7年程度から10年程度までの米国国債に投資し、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

米国国債の組入比率は、通常の状態での高位に維持することを基本とします。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	0 (0)
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公社債

(2025年5月20日から2025年11月18日まで)

			買付額	売付額
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 71,869	千アメリカ・ドル 28,430 (-)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2025年5月20日から2025年11月18日まで)

当 期			期 末		
買	付	金 額	売	付	金 額
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4% 2035/11/15	2,476,985	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4.125% 2032/11/15	2,301,067
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4.25% 2035/8/15	2,303,555	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	2.75% 2032/8/15	2,000,655
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4.5% 2033/11/15	561,256			
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4.375% 2034/5/15	558,643			
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	3.375% 2033/5/15	555,683			
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	3.5% 2033/2/15	554,733			
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4.25% 2034/11/15	554,588			
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4.25% 2035/5/15	554,044			
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4% 2034/2/15	549,702			
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	4.625% 2035/2/15	549,278			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

作 成 期 区 分	当 期 額 面 金 額	期 末				未 入 比 率			
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別		組 入 比 率	
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上		2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 189,711	千アメリカ・ドル 190,323	千円 29,564,911	% 97.6	% -	% 97.6	% -	% -	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国(外貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	当 期 銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	3.5000	16,231	15,801	2,454,679	2033/02/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	3.3750	16,539	15,932	2,475,008	2033/05/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	3.8750	15,880	15,788	2,452,565	2033/08/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.5000	15,392	15,939	2,476,112	2033/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.0000	15,787	15,784	2,451,911	2034/02/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.3750	15,546	15,937	2,475,699	2034/05/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	3.8750	15,990	15,785	2,452,192	2034/08/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.2500	15,721	15,936	2,475,532	2034/11/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.6250	15,142	15,767	2,449,302	2035/02/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.2500	15,756	15,936	2,475,634	2035/05/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.2500	15,607	15,767	2,449,386	2035/08/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.0000	16,120	15,944	2,476,886	2035/11/15
合 計	銘 柄 数 金 額	12銘柄		189,711	190,323	29,564,911	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	29,564,911	86.9
コール・ローン等、その他	4,450,704	13.1
投資信託財産総額	34,015,616	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝155.34円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (29,367,883千円) の投資信託財産総額 (34,015,616千円) に対する比率は、86.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	35,015,912,336円
コール・ローン等	1,991,312,545
国債証券(評価額)	29,564,911,995
未収入金	3,303,480,027
未収利息	140,769,302
前払費用	15,438,467
(B) 負債	4,734,536,093
未払金	4,528,265,341
未払解約金	206,270,752
(C) 純資産総額(A - B)	30,281,376,243
元本	19,709,748,590
次期繰越損益金	10,571,627,653
(D) 受益権総口数	19,709,748,590口
1万口当り基準価額(C / D)	15,364円

* 期首における元本額は15,249,311,853円、当作成期間中における追加設定元本額は5,225,857,111円、同解約元本額は765,420,374円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

U S トレジャーリー 7-10年ラダー 2021-05 (為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	251,267,811円
先進国株式・米国国債バランスファンド2021-06 (適格機関投資家専用)	3,247,435,544円
U S トレジャーリー 7-10 オープン (為替ヘッジなし/適格機関投資家専用)	2,116,269,698円
U S トレジャーリー 7-10 オープン2 (為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	7,998,529,778円
U S トレジャーリー 7-10 (為替ヘッジなし/適格機関投資家専用) 2017-06	440,242,040円
ダイブ米国国債7-10年ラダー型ファンド (部分為替ヘッジあり) - U S トライアングル	3,594,275,274円
ダイブ米国国債7-10年ラダー型ファンド (為替ヘッジなし) - U S トライアングル	813,680円
米国国債7-10年 動的為替ヘッジ戦略ファンド (適格機関投資家専用)	2,002,817円
米国国債7-10年ラダー・ファンド2025-08 (ヘッジ比率月次見直し型/適格機関投資家専用)	2,058,911,948円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,364円です。

■損益の状況

当期 自2025年5月20日 至2025年11月18日

項 目	当 期
(A) 受取利息等収益	493,962,148円
受取利息	493,962,148
(B) 有価証券売買損益	2,317,488,107
売買益	2,326,515,234
売買損	△ 9,027,127
(C) その他費用	△ 316,260
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,811,133,995
(E) 前期繰越損益金	5,618,340,147
(F) 解約差損益金	△ 352,067,378
(G) 追加信託差損益金	2,494,220,889
(H) 合計(D + E + F + G)	10,571,627,653
次期繰越損益金(H)	10,571,627,653

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

マネーポートフォリオ

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
31期末 (2023年 8 月18日)	円 10,020	円 0	% △0.0	% -	% -	百万円 1
32期末 (2023年11月20日)	10,018	0	△0.0	-	-	1
33期末 (2024年 2 月19日)	10,016	0	△0.0	-	-	1
34期末 (2024年 5 月20日)	10,016	0	0.0	54.4	-	1
35期末 (2024年 8 月19日)	10,015	0	△0.0	56.6	-	1
36期末 (2024年11月18日)	10,015	0	0.0	63.5	-	1
37期末 (2025年 2 月18日)	10,014	0	△0.0	64.3	-	1
38期末 (2025年 5 月19日)	10,016	0	0.0	57.5	-	1
39期末 (2025年 8 月18日)	10,019	0	0.0	59.8	-	1
40期末 (2025年11月18日)	10,023	0	0.0	59.7	-	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

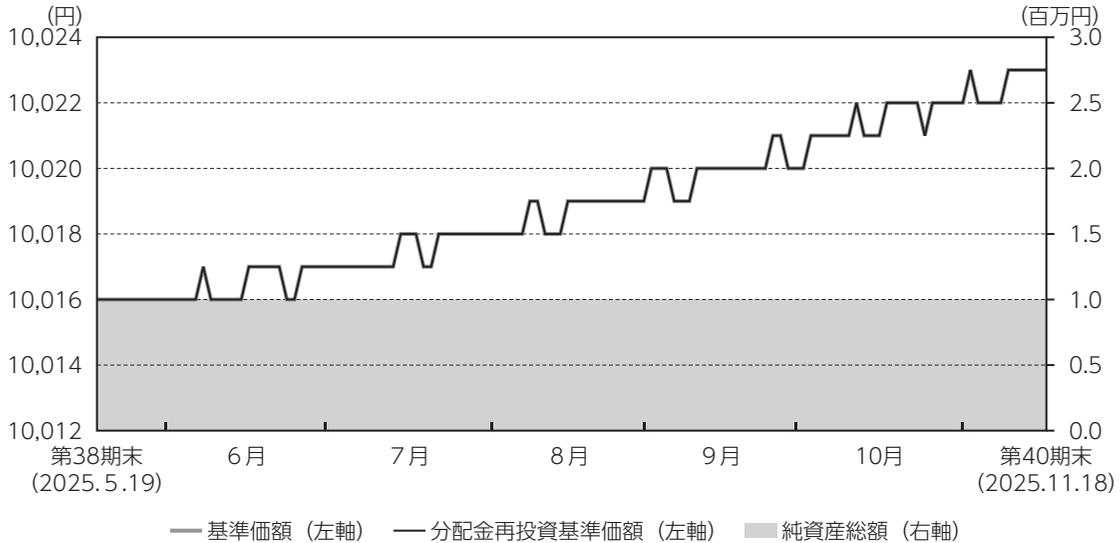
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド（部分為替ヘッジあり/為替ヘッジなし）-USトライアングルの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割を持ったファンドであり、マザーファンドおよび短期金融資産による安定運用を行います。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第39期首：10,016円

第40期末：10,023円（既払分配金0円）

騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した、短期の国債およびコール・ローンの利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ -USトライアングル-

	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 組 入 比	債 券 先 物 率 比
			騰 落 率	騰 落 率		
第39期	(期首) 2025年 5月19日	円 10,016	% -	% -	57.5	% -
	5月末	10,016	0.0	67.8	-	
	6月末	10,017	0.0	59.9	-	
	7月末	10,018	0.0	61.0	-	
	(期末) 2025年 8月18日	10,019	0.0	59.8	-	
第40期	(期首) 2025年 8月18日	10,019	-	59.8	-	
	8月末	10,019	0.0	60.0	-	
	9月末	10,020	0.0	65.8	-	
	10月末	10,022	0.0	71.1	-	
	(期末) 2025年11月18日	10,023	0.0	59.7	-	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.5.20~2025.11.18)

■国内短期金融市況

日銀は、政策金利を維持しました。このような金融政策を背景に、当作成期の無担保コール翌日物金利や国庫短期証券（3カ月物）の利回りは、プラス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.5.20~2025.11.18)

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額であったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第39期	第40期
	2025年5月20日 ～2025年8月18日	2025年8月19日 ～2025年11月18日
当期分配金（税込み） (円)	—	—
対基準価額比率 (%)	—	—
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	104	108

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第39期～第40期 (2025.5.20～2025.11.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	13円	0.127%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,019円です。
(投 信 会 社)	(4)	(0.036)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(7)	(0.073)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.018)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.018	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	15	0.146	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

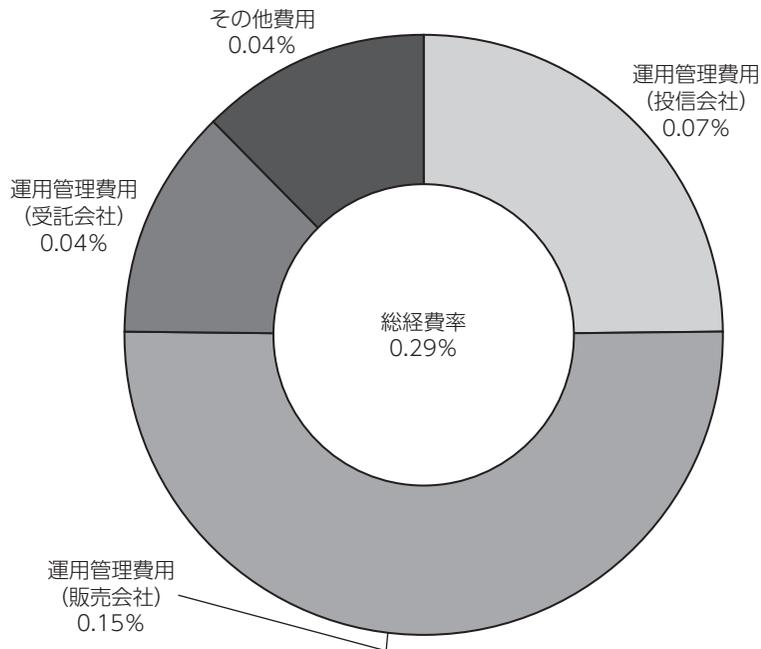
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.29%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年5月20日から2025年11月18日まで)

決算期		第 39 期 ~ 第 40 期				
区分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 57,446	百万円 19,989	% 34.8	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,538,608	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種類	第38期末	第 40 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 997	千円 992	千円 997

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月18日現在

項目	第 40 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 997	% 99.5
コール・ローン等、その他	5	0.5
投資信託財産総額	1,003	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年8月18日)、(2025年11月18日)現在

項目	第 39 期 末	第 40 期 末
(A) 資産	1,002,614円	1,003,170円
コール・ローン等	1,151	5,493
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (評価額)	1,001,463	997,677
(B) 負債	728	827
未払信託報酬	637	644
その他未払費用	91	183
(C) 純資産総額(A - B)	1,001,886	1,002,343
元本	1,000,000	1,000,000
次期繰越損益金	1,886	2,343
(D) 受益権総口数	1,000,000□	1,000,000□
1万円当り基準価額(C/D)	10,019円	10,023円

*当作成期首における元本額は1,000,000円、当作成期間（第39期～第40期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

*第40期末の計算口数当りの純資産額は10,023円です。

■損益の状況

第39期 自2025年5月20日 至2025年8月18日
 第40期 自2025年8月19日 至2025年11月18日

項 目	第 39 期	第 40 期
(A) 有価証券売買損益	998円	1,193円
売買益	998	1,193
(B) 信託報酬等	△ 728	△ 736
(C) 当期損益金(A + B)	270	457
(D) 前期繰越損益金	1,918	2,188
(E) 追加信託差損益金	△ 302	△ 302
(配当等相当額)	(△ 12)	(△ 12)
(売買損益相当額)	(△ 290)	(△ 290)
(F) 合計(C + D + E)	1,886	2,343
次期繰越損益金(F)	1,886	2,343
追加信託差損益金	△ 302	△ 302
(配当等相当額)	(△ 12)	(△ 12)
(売買損益相当額)	(△ 290)	(△ 290)
分配準備積立金	10,447	10,884
繰越損益金	△ 8,259	△ 8,239

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第 39 期	第 40 期
(a) 経費控除後の配当等収益	311円	437円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	0	0
(d) 分配準備積立金	10,136	10,447
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	10,447	10,884
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	10,447	10,884
(h) 受益権総口数	1,000,000口	1,000,000口

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ -USトライアングル-）が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第40期の決算日（2025年11月18日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年5月20日から2025年11月18日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1325国庫短期証券	2025/11/17	20,677,312			
1306国庫短期証券	2025/8/18	19,989,400			
1344国庫短期証券	2026/2/24	16,779,856			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年11月18日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（27,841,123千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2025年11月18日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 16,800,000	千円 16,780,060	% 60.0	% -	% -	% -	% -	% 60.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年11月18日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1344国庫短期証券		% -	千円 16,800,000	千円 16,780,060	2026/02/24

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

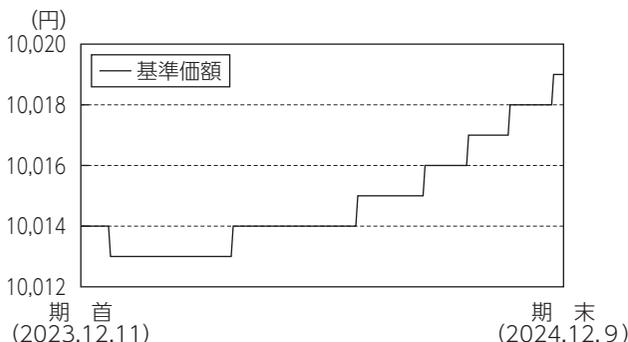
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2023年12月11日	円	%	%
	10,014	-	-
12月末	10,014	0.0	-
2024年 1 月末	10,013	△0.0	-
2 月末	10,013	△0.0	-
3 月末	10,013	△0.0	56.8
4 月末	10,014	0.0	55.6
5 月末	10,014	0.0	58.1
6 月末	10,014	0.0	54.0
7 月末	10,015	0.0	54.0
8 月末	10,016	0.0	55.0
9 月末	10,017	0.0	60.0
10 月末	10,018	0.0	59.1
11 月末	10,018	0.0	62.9
(期末)2024年12月 9 日	10,019	0.0	62.9

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,014円 期末：10,019円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	95,595,643	(63,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		当		期			
		買	付	売	付		
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
			千円				千円
1219	国庫短期証券 2024/6/24	32,999,307					
1258	国庫短期証券 2024/12/23	32,596,486					
1239	国庫短期証券 2024/9/24	29,999,850					

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	
国債証券	32,600,000	32,599,453	62.9	—	62.9	
				5年以上	2年以上	2年末満
				%	%	%
				—	—	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	当 期		末		償還年月日
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	
		%	千円	千円	
国債証券	1258国庫短期証券	—	32,600,000	32,599,453	2024/12/23

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	千円	%
公社債	32,599,453	62.9		
コール・ローン等、その他	19,265,458	37.1		
投資信託財産総額	51,864,911	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産		51,864,911,730円
コール・ローン等		19,265,458,266
公社債(評価額)		32,599,453,464
(B) 負債		2,765,000
未払解約金		2,765,000
(C) 純資産総額(A-B)		51,862,146,730
元本		51,764,911,701
次期繰越損益金		97,235,029
(D) 受益権総口数		51,764,911,701口
1万口当り基準価額(C/D)		10,019円

*期首における元本額は62,579,567,123円、当作成期間中における追加設定元本額は19,540,096,318円、同解約元本額は30,354,751,740円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用） 48,964,798円
 ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用） 3,520,288,985円
 ダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s用）（適格機関投資家専用） 1,089,639円
 ダイワJリートベア・ファンド（適格機関投資家専用） 595,752,000円
 米国債プラス日本株式ファンド2021-01（部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用） 1,518,511円
 米国債プラス日本株式ファンド2021-07（部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用） 1,993,906円
 ダイワ/バリュース・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス 9,976円
 通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型） 1,346円
 通貨選択型 アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型） 1,346円
 オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース） 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース） 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース） 1,973円
 オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース） 1,973円
 NYダウ・トリプル・レバレッジ 1,079,436,135円
 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型） 998円
 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型） 998円
 NASDAQ100 3倍ベア 675,399,527円
 ボーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型） 998円
 ボーレン米国グロース株式ファンド（予想分配金提示型） 998円
 トレンド・キャッチ戦略ファンド 9,977円
 AHLターゲットリスクリスト戦略ファンド（適格機関投資家専用） 8,076,387,870円
 ダイワJGBベア・ファンド2（適格機関投資家専用） 37,760,624,420円
 ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド 2,417,017円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型） 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型） 998円
 ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
 ド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型） 998円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし/資産成長型） 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり/資産成長型） 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし/年4回決算型） 999円
 ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり/年4回決算型） 999円
 ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトラリアングル - 997,374円
 *当期末の計算口数当りの純資産額は10,019円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,861,093円
受取利息	29,709,921
支払利息	△ 1,848,828
(B) 有価証券売買損益	82
売買益	82
(C) 当期損益金(A + B)	27,861,175
(D) 前期繰越損益金	85,071,521
(E) 解約差損益金	△44,514,349
(F) 追加信託差損益金	28,816,682
(G) 合計(C + D + E + F)	97,235,029
次期繰越損益金(G)	97,235,029

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。